



↑火おこしに挑戦する子ども

第26回長島古墳まつり 古代の暮らしを体験

第26回長島古墳まつりが10月19日、ながしま風車公園でありました。

この日は、町内の児童ら約80人が参加し、神事を行った後、^{まがたま}勾玉づくりや火おこし体験、弓矢の操作など大昔の生活を体験しました。

火おこし体験では、なかなか火が付けられず、悪戦苦闘していた子どもたちでしたが、煙が立つと歓喜の声を上げていました。

昼食では、古代米や鍋料理などが振る舞われ、子どもたちはおいしそうに頬張りました。

第1回ふれあい・ながしま軽トラ市 荷台に特産品が満載

長島町商工会では、10月27日に第1回ふれあい・ながしま軽トラ市を同所で開催しました。

これは、同商工会が地域活性化を目的に企画したもので、今回は店舗に見立てた軽トラック11台が並び、農産物や水産物、雑貨などが出品され、大いににぎわいました。

このほか、豪華賞品が当たるスタンプラリーや餅投げなどのイベントもあり、大人から子どもまで楽しんでいました。

木場盛二会長は「今後も町内外から多くの人が集まるイベントに定着させたい」と意気込みました。



↑盛況となった餅投げの様子



↑表彰を受けた長島中の生徒ら

令和元年度「かごしまの教育」県民週間 標語の部で優秀賞と学校賞

令和元年度地域が育む「かごしまの教育」県民週間において、標語の部で長島中学校1年生の小屋海琴さんが優秀賞、長島中学校が学校賞を受賞しました。

これは県民一人ひとりに鹿児島県の教育について考えてもらう機会として、毎年県教育委員会が実施しているものです。

11月1日に開かれた同校の文化祭で、県教育委員の原之園 政治氏から受賞者に賞状や盾の贈呈がありました。